



薩摩川内市立平佐西小学校 学校だより

11月号

おうち

棟の木

11月



令和6年11月19日発行

<http://www.edu.satsumasendai.jp/hirasanihara-e/>

[【hirasanihara-kyoutou@edu-satsumasendai.jp】](mailto:hirasanihara-kyoutou@edu-satsumasendai.jp)



「言葉」について

校長 新田 賢一



11月11日にあった全校朝会での話です。

学校の廊下を歩いていたら、4年生のある男の子に「校長先生の全校朝会の話を楽しみにしています」と・・・突然言われました。急だったので、余計にうれしく思い、その言葉を聞いて「がんばろう」という気持ちになりました。言葉は周りの人を元気にする力がありますね。皆さんも、このような人を元気にする言葉をたくさん使ってください。

ところで、「言霊(ことだま)」という言葉を知っていますか。

辞典には「言葉にすることで本当になると信じられた、言葉がもっている力のこと」とあります。

アメリカで野球をしている大谷翔平選手は、「自分は、26歳で結婚し、ワールドシリーズで優勝する」と高校生のときに言葉にしていました。予定より4年ほど後にはなりませんが、自分の言った事がしっかり実現されていて、「すごいなあ」と思います。「自分はできる」と言葉に出しながらがんばることは大切なことです。

また、その反対に、「不安に思っていること」や「がんばってもできないこと」を言葉にすることも大切です。それらの気持ちを言葉にして伝えることで、周りの人がサポートをしてくれます。つらいことを一人で抱え込まないで、口に出して伝えてください。



「言葉」を大切にしてほしいと考えている校長先生からの話でした。

この話をした5日後、薩摩川内市教委主催の「家庭教育学級研修会」で、かつてKKBニュースキャスターなどをされていた池上美弥子さんから、別な視点で「言葉」についての講演を聞く機会がありました。内容を要約すると次のとおりです。

- ・ 自分の思いを「言葉」にすることは、人生の中で一生ついてまわる。うまく言えることで、人生の質も変わってくる。大切なのは、流ちょうに話すことではない。言葉に詰まってもよい、訛ってもよい。話したいことがあれば、自然に言葉が出てくる。自分の言葉で語れる子供を育ててほしい。
- ・ 自分の言葉で語れる子供を育てるためには、「新聞の音読」が有効である。SNSでは、興味があるものだけが入ってくる。フェイクニュースもある。新聞なら、時勢を知り、興味のないことも知る。そして、真実を見分ける力がつく。
- ・ 「音読」の方法は、新聞の記事を①「です、ます」調にする。②文章を短く切る。③難しい言葉を簡単な言葉に置き換える。・・・大きな声で相手に話すように読むことを続けることで、頭に内容が定着し、伝える力が伸びてくる。根気がいるが、ぜひ続けてほしい。

誰でも使える「言葉」だからこそ、その使い方を大切にしたいと思います。(・・・自戒を込めて)



12月の予定



3日(火) 学級PTA、教育相談
6日(金) 薩摩川内元気塾(1・2年)
12日(木) クラブ活動

4日(水) 薩摩川内元気塾(3年)
7日(土) PTAバザー
24日(火) 終業式 大掃除



延べ938人！「かごしまの教育」県民週間 ありがとうございました。

県民週間への参観者が昨年度より100人以上増え、本校教育への関心の高さを感じます。保護者や地域の方々から、子供たちががんばる姿に直接励ましの言葉をいただくこともありました。学校でも、実際に講師や地域の方々が学校の授業に参加されることを通して、指導や支援の在り方について考えるきっかけになりました。時代の流れの中で、教育も変わってきています。今後も地域や保護者の皆様の御理解と御協力を、そして温かい応援をよろしくお願いいたします。

昔遊びをしよう（1年） おもちゃフェスティバル（2年）
 オータムフェスタ（3年） 歯科衛生指導（4年）
 カンガルー事業（5年） いのちの授業（6年）



【3年 隊列を作ってはんや踊りを発表する子供たち】



【2年 保護者に作成したおもちゃの説明をする子供たち】



【6年 いのちについて
深く考えることができました】



【4年 講師の話を熱心に聞いていました】



「二年 昔遊びを教えるために
たくさんの方が来られました」

はんやジュニア大会に参加しました。

10月26日、3年生の代表がはんやジュニア大会にビデオ出演しました。SSプラザでは大きな映像で映され、一人一人が「さなばいはんや隊」として一生懸命踊っている様子が発表できました。当日は「グッドパフォーマンス賞」という素晴らしい賞をいただきました。



【精一杯踊る子供たち】

市家庭教育学級研修会（発表）から

11月16日、幼・小・中からそれぞれ代表1校が発表を行い、平佐西小の家庭教育学級も登壇しました。「学ぶ！語る！実践する！家庭教育の充実に向けて」という内容で大変好評でした。これまで一生懸命準備をされてこられた方々、素晴らしい発表をありがとうございました。



【2年間の取組の発表】

はんやまつり～70人で踊り連参加～

11月3日（祝）、PTAと地区コミュの合同で、今回初めて「はんやまつり」に参加しました。

老若男女を問わず、笑顔を輝かせてみんなで踊る



姿が印象的でした。

来年度の参加をお待ちしています！

集団宿泊学習 ～けじめ・静と動～



【体験活動の様子】



5年生は、11/12～14まで、少年自然の家で2泊3日の体験活動を行いました。3つのけじめ「時間、場所、静と動」と、6つの出会い「人・不自由・自然・自分・体験・常識」を意識して「考動」しました。所員からも立派な態度に、お褒めの言葉をいただくことができました。

居場所があ～る・絆をつく～るコーナー Let's 九九チャレンジ！



先月末から、2年生恒例となった「かけ算九九マスターチャレンジ」が始まりました。昼休みが始まると「失礼します。九九チャレンジをお願いします。」と緊張と笑顔が入り交じった表情で、職員室前や校長室前、廊下のあちこちで大きな声が響きます。学年や専科を問わず、自分からそれぞれの先生に九九の確認をお願いして、合格ができれば冊子にサインがもらえます。「〇〇先生からもらえた！」「あと少しと言われて残念だった」「やさしかった」「ドキドキした」などの色々な声が響き渡る、賑やかな平佐西小学校の昼休みです(^_^)。